

コード	201030505
記入日	H26.11.7

課コード	113
課名	環境課
課長名	平田 竹喜
担当者	小田 良彦

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	ごみ焼却施設溶融プラント電動重量シャッター取替事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20103	基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進	目コード	3
事務事業コード	2010305	事務事業名称	ごみ焼却施設管理費	細目コード	317
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画	法令・条例規則等	新上五島町廃棄物処理施設条例		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標												
(対象1) 町民 (対象2)	(対象指標1) 21,175人 (H26.11.1現在) (対象指標2)												
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標												
<p>・ごみ焼却施設は、稼働開始 (H14) から10年以上が経過しており、電動機等の劣化が進行し、施設の安定運転を図るため、計画的、定期的な補修を実施する。 →溶融プラント電動重量シャッター取替 1.0式</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(活動指標名称)</th> <th>(活動指標数値)</th> <th>(指標積算根拠)</th> <th>(目標達成年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 取替箇所数</td> <td>1箇所</td> <td>電動稼働不能箇所数</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)	① 取替箇所数	1箇所	電動稼働不能箇所数	平成27年度	②			
	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)									
① 取替箇所数	1箇所	電動稼働不能箇所数	平成27年度										
②													
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標												
<p>・快適な衛生生活の提供・周辺環境の保全等、町民の生活に密着したものであるため、経年劣化により機能低下した設備の補修、更新を計画的に実施し、施設の安定、安全運転を図ることを目的としている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(成果指標名称)</th> <th>(成果指標数値)</th> <th>(指標積算根拠)</th> <th>(目標達成年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 安全性の確保</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)	① 安全性の確保	-	-	平成27年度	②			
	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)									
① 安全性の確保	-	-	平成27年度										
②													

実施 (DO)

	単位	全体計画	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
		H 27 ~ H 27							
活動指標	① 箇所	1		1					
	②								
成果指標	①								
	②								
総事業費 C (A+B)	千円	1,980		1,980					
直接事業費 A	千円	1,280		1,280					
人件費 B	千円	700		700					
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起債	千円							
	その他	千円							
一般財源	千円	1,980		1,980					

評価 (CHECK)

評価項目	内 容
・事業の緊急性・必要性はありますか。	ごみ焼却施設は稼動から既に12年を経過し、屋外機器の腐食が進行しており、溶融プラントシャッターについてもモーターによる開閉が不能となっているため、早急な修繕が必要となっている。
・事業の対象・目的は適切ですか。	シャッターを開けなければ溶融スラグの積み込みは不可能であり、ごみの焼却からスラグ搬出までの一連の業務を円滑に遂行していくうえで必要な事業である。
・町が税金を投入して行う必要がありますか。	現在は手動にてシャッターを開けているが、その作業には30分程度の時間を要し、一度作業にかかる途中で停止することができず作業者は非常な負担を強いられているため、その負担を開放し円滑なごみ処理業務を遂行していくうえで必要な事業である。
1次評価 ・事業を行わない場合の影響はありますか。	腐食が進行し、手動においてもシャッターが作動しなくなった場合、スラグ搬出が不可能となるため、ごみ処理業務が停滞してしまうこととなり、施設の安全管理責任が問われる。
・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	事業費については、入札による若干の削減が可能である。
・受益者負担は適正ですか。	適正である。
・類似事業との整理統合はできませんか。	できない。

2次評価	本事業は、施設を安全にかつ安定的に運転していくうえで必要であると判断するが、ごみ焼却施設の性能を維持継続させるためには、施設全体の長期維持管理計画を策定し、効果的に事業を実施する必要がある。現在実施しているごみ焼却施設性能継続補修事業とあわせ、計画内容等を十分に精査すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
		●		類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。